

【香嵐渓】

吊り橋の上は、眺めは良いけど、結構揺れます！

キレイ！



1

【足助氏の菩提寺・香積寺】

おみくじがあります。お参りのあとに、ひいてみては？

ASUKE



留学生的

愛知ガイド～足助編～



4

【馬頭観音】

旅の安全を祈願したもので、足助の街の入り口にまつられています。観音様の頭には、馬の顔があります。

足助を通る飯田街道は、江戸時代に中山道のバイパス的な役割を担っていました。岡崎と名古屋からの荷が集まり、特に塩などの物流の中継点として栄えました。



頭に注目!



3

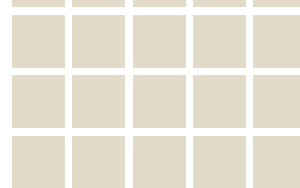
【三州足助屋敷】

竹馬やお手玉...

昔ながらの日本の遊びを体験できます。

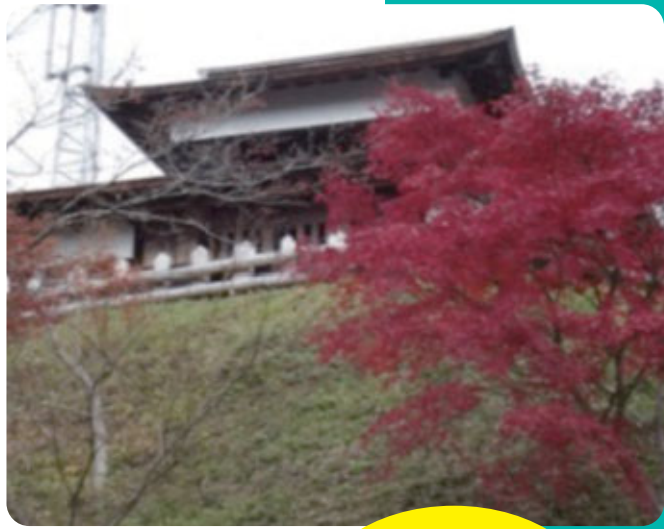
屋敷の中の薫楓亭では、豆腐料理が食べられます。

肉も魚も入っていないのに、美味しいです!



いただきま〜す!





7

【足助城】

見慣れた名古屋城とは違う、中世の山城を再現。
見晴らしも良く、隠し通路を探してみるのも楽しいですよ。
ただし、隠し通路は暗くてせまいので頭上に注意!



五平餅
ぱくっ



春もきれい!

6

【足助の町並み】

古くて貴重な建物がたくさん残っています。



5

【街の中の清流】

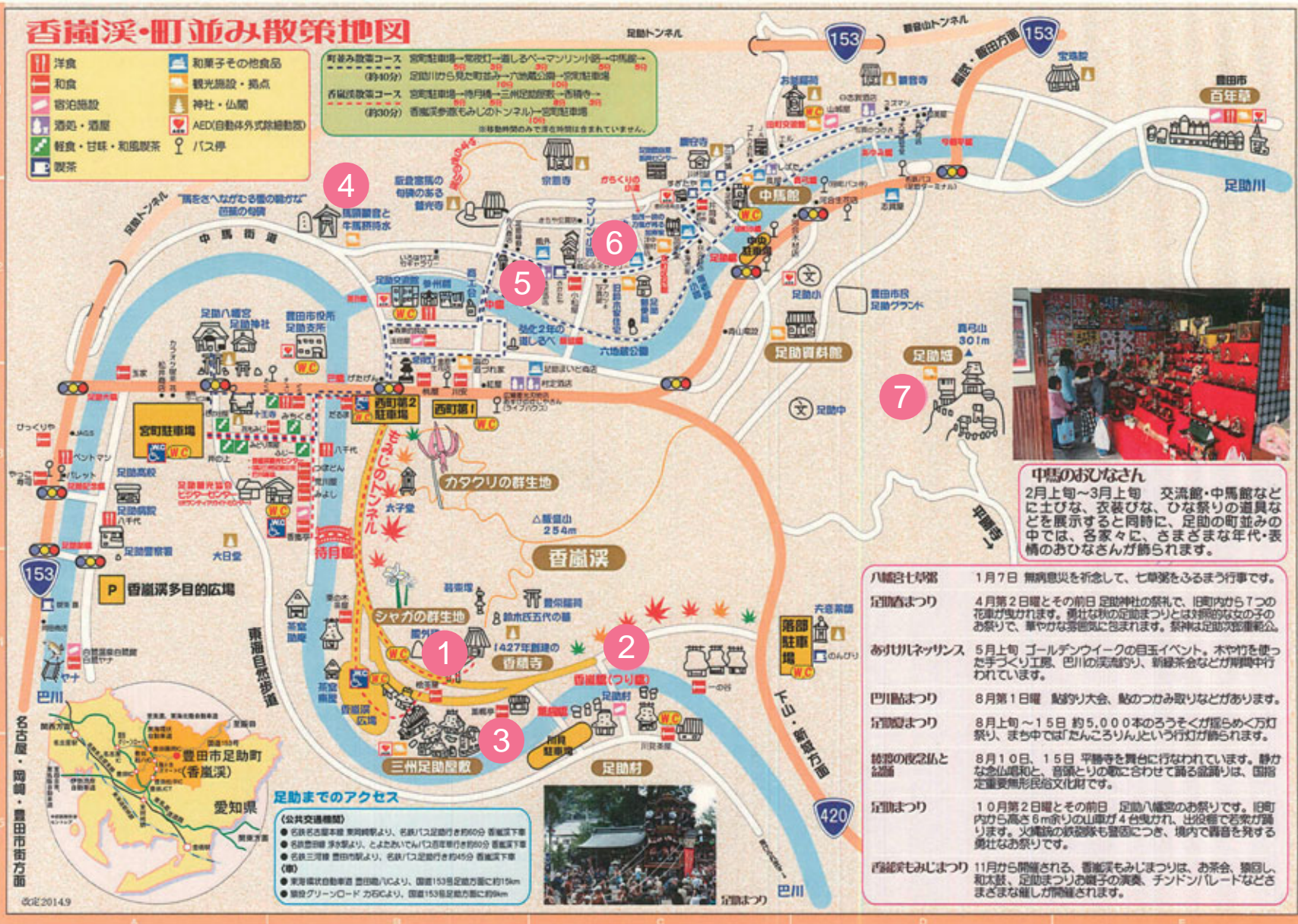
それぞれの家から川に下りられます。
正面の山頂には足助城が見えます。



香嵐溪・町並み散策地図

- 洋食
- 和食
- 宿泊施設
- 酒処・酒屋
- 軽食・甘味・和風喫茶
- 喫茶
- 和菓子その他食品
- 観光施設・拠点
- 神社・仏閣
- AED(自動体外式除動器)
- バス停

町並み散策コース 宮町駐車場→電灯灯一並しるペーパマンリン小道→中馬館→(約40分)
香嵐溪散策コース 宮町駐車場→待月橋→三州足助歴史・香嵐溪→香嵐溪歩道もみしのトンネル→宮町駐車場(約30分)
※移動時間のみで滞在時間は含まれていません。



中馬のおひなさん
 2月上旬～3月上旬 交流館・中馬館などに土ひな、衣装ひな、ひな祭りの道具などを展示すると同時に、足助の町並みの中では、各家々に、さまざまな年代・表情のおひなさんが飾られます。

- 八幡宮七草粥** 1月7日 無病息災を祈念して、七草粥をふるまう行事です。
- 足助まつり** 4月第2日曜とその前日 足助神社の祭礼で、旧町内から7つの花車が曳かれます。勇壮な秋の足助まつりと対照的な女の子のお祭り、華やかな茶会も含まれます。祭神は足助次郎重忠公。
- あけがれネッパリス** 5月上旬 ゴールデンウィークの日玉イベント。木や竹を使った手づくり工房、巴川の炭焼約り、新緑茶会などが開催中行われています。
- 巴川まつり** 8月第1日曜 鮎祭り大会、鮎のつかみ取りなどがあります。
- 足助まつり** 8月上旬～15日 約5,000本のろうそくが燃らめく万灯祭り、まち中ではだんごろりんという行灯が飾られます。
- 縁起の夜会仏と結納** 8月10日、15日 平勝寺を舞台に行なわれています。静かな念仏唱和と、音頭とりの歌に合わせて踊る盆踊りは、国指定重要無形民俗文化財です。
- 足助まつり** 10月第2日曜とその前日 足助八幡宮のお祭りです。旧町内から高さ8m余りの山車4台曳かれ、出役役で若衆が踊ります。火筒隊の旗隊も盛況につき、境内で音響を発する勇壮なお祭りです。
- 西総溪もみじまつり** 11月から開催される。香嵐溪もみじまつりは、お茶会、祭直し、和太鼓、足助まつりおひなさんの演奏、チンドンパレードなどさまざまな催しが開催されます。

足助までのアクセス
(公共交通機関)
 ● 名鉄名古屋本線 東岡崎駅より、名鉄バス足助行き約60分 香嵐溪下車
 ● 名鉄豊田線 多水駅より、とよあいてんバス(百年祭付)約90分 香嵐溪下車
 ● 名鉄三河線 豊田市駅より、名鉄バス足助行き約45分 香嵐溪下車(朝)
 ● 東海旅客自動車鉄道 豊田線(ICAより、国道153号足助方面)に約15km
 ● 豊田グリーンロード カラスより、国道153号足助方面に約9km



旧足助宿は豊田市中南部に位置し、名古屋から長野県塩尻まで続く飯田街道(中山道の脇往還)沿いに物資運搬と庶民通行の要所として栄えた商家町です。馬の背に荷物を付けて運ぶ三州中馬稼ぎの起点となった所で、岡崎方面等からの塩荷を当地で一旦ばらして付け直すところから「足助塩」の名も生まれました。2011年に県内で初めて伝統的建造物群保存地区に指定され、整備が進められています。

愛知ガイド～足助編～

